

黒潮

平成18年10月発行

第97号

和歌山県看護協会会報



高野山

写真撮影 広報委員 橋爪 俊喜

CONTENTS

- ・地区支部だより2~3
- ・ふれあい看護体験4~5
- ・看護の希い(18)6
「がんばっています 主任さん」
- ・保健師のコーナー7
- ・助産師のコーナー7
- ・看護師のコーナー7
- ・看護協会委員会のコーナー8
- ・My Hospital8
- ・リレーエッセイ9
- ・私の○○9
- ・和歌山県看護協会の動き10
- ・会員の皆さまへのお知らせ10

会員総数 5,721名

名誉会員 1名
保健師 187名
助産師 185名
看護師 4,432名
准看護師 916名
平成18年10月10日現在

地区支部だより

伊都地区支部

支部長 西山 登志子

この度、平成17年度7月より伊都地区支部長をさせていただきます橋本市民病院西山です。

この4月に診療報酬改定・介護報酬改定が行なわれ、医療を取り巻く経済的環境は厳しいものがあり、私たちも無関心ではいられなくなってきました。また、和歌山県看護協会研修センター建設事業計画についての討議もなされており、こういったなかには地区支部長としての任を預かり身が引き締まる思いです。微力ながらも精一杯頑張っていきます。



那賀地区支部

支部長 田伏 富紀

平成18年6月から那賀地区支部長の役を受けさせていただきました。

役職をスタートしたばかりでまだまだ未熟ですが、会員の方々の御協力、御指導を得ながら精一杯頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

6月24日(土)に那賀地区支部総会及び研修会が岩出市総合保健福祉センターにおいて開催され、出席者103名の多数の参加がありました。

また、その後の研修会では、「感染対策について」感染看護認定看護師の出口安芸先生を講師に迎えて、感染防止を実践するための必要な今後の取り組みについて学びました。



和歌山地区支部

支部長 前田 やよい

平成18年度看護の日の行事として「1日まちの保健室」を5月13日(土)県立図書館で開催しました。延べ、475名のご利用がありました。

支部総会及び研修会は6月24日(土)JA会館で開き、246名の出席を得、「看護職の為に音楽療法」が好評でした。

第1回地区支部施設代表者会議は8月8日(火)に開催し、32名の施設代表者と役員5名で谷会長よりの報告と協議等を行ないました。

今年度も、会員皆様の協力を得、充実した活動をしたいと思います。



海南海草地区支部

支部長 沖田 さち子

看護週間行事は、晴天に恵まれた5月14日(日)母の日に海南市の「わんぱく公園」で、子育て世代のお父さん、お母さんを対象に「1日まちの保健室」を開催、165名の健康チェック・健康相談を実施いたしました。

7月1日(土)には、支部総会とともに研修会を海南市民病院・副院長佐々木政一先生に「紀泉楽太郎の温泉セミナー」と題してご講演をいただき、約120名の会員が、温泉天国「紀州の秘湯めぐり」を楽しんだところです。

この後10月・11月には老人月間行事として、海南市・紀美野町の健康まつりが控えております。又12月には、岩出在住の安川修先生に「認知症を通じて教えられたこと」をテーマにご講演いただく予定であり、地区支部事業は役員・会員の皆様のご協力を得て、順調に進んでおります。今後ともよろしくお願いを申し上げます。



地区支部だより

有田地区支部

支部長 野村 眞佐子

今年度より、役員が交代しました。今後とも、地区支部の会員の皆様には、地区支部活動へのご協力・研修会等へのご参加宜しくお願い致します。

さて、今年度地区支部総会の際、第1回研修会「災害看護」を開催しました。研修後に質問も多数あり、参加者から好評な研修でした。

先日の役員会で、第2回目の研修は、来年の2月に看護研究の発表の形式となりました。初めての試みで、看護研究以外に、実践報告などもして頂いて、施設間の看護実践の情報交換が出来ればよいと考えています。

日高地区支部

支部長 田口 佳美

日高地区支部は平成18年度役員が改正され、9名の役員のうち8名が新人という体制でのスタートとなりました。

7月15日に87名の参加のもと総会および会員研修を開催致しました。会員研修は独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センターの木村康子先生を講師に迎え「医療安全活動において看護職が果たすべき責任」というテーマで講演をして頂きました。

今後も会員の皆様からのご協力をもとに、充実した支部活動ができればと思っています。



田辺地区支部

支部長 河野 佐和子

医療現場において、NSTチームを結成している病院が多い。その中で今回「栄養療法実践の為の症例検討」と題し、3症例をもとに主観的包括的評価の考え方を学び、大変好評であった。また客観的包括的評価の考え方も予定している。秋には生涯学習フェスティバルに参加し、役員が協力し地域住民の健康相談も行う。



新宮・串本地区支部

支部長 有竹 由紀子

第一回研修会の講師に香取貴信氏を迎え「私の体験したディズニーマジック・感動を呼ぶサービス」と題した講演会を開催しました。

講師がディズニーランドの従業員として体験されたお客様へのサービスについてお話いただき、笑いと涙の中で本当に大切なサービスの基本を学ぶことができ、会員の皆様にも好評でした。

ディズニーの一番のサービス「生きて帰ること」
→施設内の安全

ディズニーのポリシー「すべてはお客様の為に」
→お客様中心

看護サービスの基本(安全と患者中心)とまさに同じです。

- ① 参加者の感想
- ② 病院担当者のコメント

ふれあい看護体験

和歌山県立医科大学附属病院

① 開智高等学校 浅利 州紀

ふれあい看護体験を通して私は患者様に対する医療現場の在り方がどのようなものか分ったように思います。

私は今回和歌山県立医科大学附属病院で体験させていただいたのですが、医療、看護はもちろん、清掃や食事に至るまで個々の専門の業者が行い、仕事をしている光景に驚きました。総ては患者様が病気の治療に専念出来るよりよい環境づくりのためなのだなと思いました。

とても貴重な体験をさせていただき有り難うございました。

② 和歌山県立医科大学附属病院 副看護師長 藁科 佳代

新生児室での沐浴や授乳を見学し、実際にオムツ交換や授乳を体験してもらった。初めて新生児を抱っこするとあって、最初は戸惑い気味であったが、嬉しそうに声をかけながらあやしていた。2人の笑顔が印象的であった。



琴の浦リハビリテーションセンター

① 和歌山信愛女子短期大学附属高等学校 宇治田 量子

私が一番この体験をして感じたことは、患者さん一人一人に対してすごく一生懸命でよく考えているなあって思いました。例えば、食べる時に使うスプーンやフォークです。一人一人にあったスプーンなどを手作りで作っていると聞きました。それだけではなく、ご飯もナースコールも。こういう病院で私も働きたいと思いました。もう一つ気づいたことは、看護師さんはみんな患者さんに大きな声ではっきりと言っているのに優しく感じたことです。私が思ったことなんだけど、看護師さんは会話で、その人の状態とかも見ているような気がしました。私は大きな声で話をできなかったの、さすがだなあと思いました。私は患者さんの心の中が、あんまりわかっていないなあと、あらためて思いました。手伝えることがその人のためになるんじゃないかと、その人が一生懸命にしているのをしっかり見て、わかって、支えてあげ、必要な時に手を差し出すことがいいのかなあと思いました。この体験で、難しいことがわかったけど、もっともっと勉強して私もこの看護師さんたちになりたいとすごく思いました。

② 琴の浦リハビリテーションセンター 谷口 加代

私達の患者さんに対する思い、また看護を実際に見て体験することで、いろんな事を感じてもらえて良かったです。



公立那賀病院

① 橋本高校 高野 莉恵

私は公立那賀病院でふれあい看護体験に参加しました。一度看護体験をしたかったので今日は来てよかったです。小さい頃から看護師になりたいくて、看護師は大変な仕事だと聞いていたので少し不安でしたが皆さんとても優しく丁寧に仕事をしていたと思いました。常に笑顔で患者さんと接していて、看護師さん、一人一人がいきいきと仕事をしていたように思いました。一日の看護体験を終えた今、ますます看護の道を目指そうと思いました。

② 担当者

看護師が生き生きと働いている姿を見て頂いて、体験者に看護という仕事を理解して頂き、目指して頂けたらうれしく思います。

有田市立病院

① 海南高校 川口 遥香

私が「ふれあい看護体験」に参加したのは、身をもって看護師という仕事を一度体験したいと思ったからです。私がお世話になった病棟は産婦人科で、新生児室の中に実際に入っただけの体験でした。新生児室に入るためには、手をしっかり洗いナース服の上から更に白衣を着て、頭には髪全体を覆う帽子をかぶりました。新生児室には生まれてからまだ数時間や数日しかたっていない赤ちゃんがいて、私は初めて赤ちゃんを抱っこして、少し緊張したけどすぐに慣れました。一番苦労したことはミルクをあげる時になかなか全部飲んでくれなかったことです。

ほんの数時間の体験だったけど、ずっと立っているのは大変だと感じました。でも看護師さんが「やりがいのある仕事」だと言っているのを聞いて、より一層看護師という仕事に興味を持ち自分の将来の夢への第一歩となりました。貴重な体験が出来て本当に良かったです。この体験をこれから先、生かすことが出来るように頑張りたいと思います。

② 有田市立病院 佐藤めぐみ

今回、一日看護体験に参加して頂いた方は、全員高校生で皆、将来看護師を志していると知り、大変うれしく思いました。体験者のひたむきな態度や、患者さんからの「有難う」という言葉に感動している姿を目の当たりにし、自らの初心を思い起こしました。この思いが、日々の業務への新たな活力となっていく事と思います。

若い世代の人間が看護に興味を持ち、年々「ふれあい看護体験」への参加者が増えることを期待しています。



医療法人裕紫会 中谷病院

① 貴志川高等学校 西岡 繁子

本日は医療法人裕紫会中谷病院の方でふれあい看護体験をさせていただきました。中谷病院はとても患者様のために尽くす病院でした。特に看護師さんは患者様ととても近い存在なので、気をくばり、1人1人の患者様に優しく接して、介護や看護をしていました。1日という短い時間でしたが、看護師さん達は『1つでも多くの事を学んでもらいたい』と言ってくださり、この1日はとても貴重な忘れられない良い体験をさせていただきました。そしてまた、この体験を通してますます「看護師になりたい」という強い意志をもちました。中谷病院のみな様、貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

② 医療法人裕紫会 中谷病院 井ノ阪 洋子

短時間の限られた中で、いろいろなことを見て、感じてもらえたと思う。これを機に「看護」ということに目をむけ目標に向かって励んでほしいと思います。



独立行政法人国立病院機構 和歌山病院

① 新宮高校 矢敷 成華

今回の看護体験は、私にとって初めての体験でした。

私は先日、ある大学のオープンキャンパスに参加しました。そのせいもあって看護師への興味や憧れは強くなっていました。

私が担当させて頂いた患者さんは、93歳と高齢ながらも元気で、礼儀正しく、とても優しい方でした。どのように接したらよいか戸惑う私に、たくさん話を掛けてくれ、足浴の際には「気持ちいいよ」と言って何度も何度もお礼を言ってくれました。私はこの一言でとても勇気付けられ、「頑張ろう!」と思いました。私達が普段何気なく行うことでも、他人に対して行うことは大変なことでした。しかし、その大変さを実際に体験することで学ぶものも多かったです。あらゆる職業に共通していることですが、人と接することは難しく、戸惑うことも多々あります。その中でも1人1人の患者さんと向き合い、治療のサポートと同時に、患者さんの立場になって気持ちを考え、それに気付き精神面でのサポートを果たす「看護師」という職業は素晴らしいと思いました。今回の看護体験で支えてくださった皆さん、本当にありがとうございました。

② 和歌山病院 看護師 船山 洋

看護体験は短時間でしたが、患者様とコミュニケーションを十分にとれたことはこれから看護師を目指す方にとっては、夢を後押しする良い機会になったのではないかと思います。



看護の希い

“がんばっています 主任さん”

和歌山生協病院 岡本友紀

毎日、「主任の役割とはなんだろう」「これでいいのだろうか」答えのない日々。最終的には、自分にしか出来ない役割があるはず。今、出来る事からしよう。どんなに忙しくても笑顔を忘れず、患者様、スタッフが話しやすい状況でいよう。3ヶ月がたちメンバーの成長や患者様の元気になっていく姿で、頑張ってたかったと思えるようになってきています。「看護は、1人では出来ないチームワークだ」と言い聞かせ、メンバーを信頼し頑張っていこうと思います。



山本病院 上統日是子

当病院に勤務して19年になります。その間も沢山の患者様、またその御家族の方々、そして多くのスタッフとの触れ合いの中、日々成長させて頂きました。現在7月からの診療報酬改定により、スタッフの調整、それに伴い業務内容見直し等、厳しい状況となっておりますが、患者様第一に考え、今まで同様一人一人のニーズが満たされより細かな看護・ケアが提供できるようスタッフと協力し合い、初心忘れることなく頑張っていきたいです。



済生会有田病院 片山綾子

突然、係長に任命されたのは3年前。ただ看護師の仕事が好きでやってきた。正直、係長の役割もわからず看護部長・課長からアドバイスを頂きながら他の6名の係長と試行錯誤しながら与えられた課題に取り組んできた。現在月2回の係長会を持ち、係長・副主任11名で卒後教育・プリセプターの育成に取り組んでいます。



特定・特別医療法人黎明会 北出病院 地域医療連携センター 水貝 絹子

地域医療連携センター勤務になり2年半になります。主に高齢寝たきり・終末期の介護に関するご相談を受け、院内・地域の医師・看護師・介護職の皆様とのパイプ役として安全で安心いただける医療・看護・介護の提供と退院後も地域への連携により、ご満足いただけるよう退院調整にあたり日々奮闘する中で、患者・家族の希いは、「どんな状態でも、一日でも長生きして欲しい」「なるべく苦しまないで、穏やかな時間を家で家族と共に過ごしたい」etc、その希いは私たち医療従事者の希いでもあります。

全ての希いは誰か一人が、どんなに頑張っても叶うものではありません。みんなの力を合わせ、一つの目標に向かって動き出した時、目標に少し近づいた時、心に満足感が生まれ暖かな気持ちになった時、はじめて希いが叶うのです。

医療がどんなに発達しても、命に限りがある事は変わりませんが、永遠の命が在るとすれば、それは「大切な人の心の中で生き続ける」と言う事なのかもしれません。ご家族の介護する不安・負担を軽減し、安心して在宅医療ができ、終末期の看取りができた後、心の中に、とびっきりの(^-^)笑顔の患者様が生き続けて頂けるような、看護の連携が私の希いです。



保健師のコーナー

保健師職能委員長 内田 史

今年度の保健師職能委員会のテーマは、「災害時の緊急対応」です。ここ数年、県内でも災害時の保健活動をテーマにした講演や研修が多く行われており、保健所や各自治体で災害対応マニュアルが作成されているところも多くあるようです。

私たち保健師職能委員会では、それらのマニュアルや他県の状況を参考にしながら、特に初期活動について「一目でわかるようなもの」の作成をめざして検討をしようということになりました。

まだ目的が漠然としているなか、先日神戸市にある「人と防災未来センター」を見学し、担当の方から説明を聴く機会を得ました。地震破壊のすさまじさを伝えるシアターはかなり迫力があり、担当の方はとても熱心で親切で、このテーマがいかに重く大切なものかということに改めて感じました。職能委員それぞれの職場、業務の状況を情報交換しながら、皆さんが役立てられるものになるよう議論していきたいと思っています。

助産師のコーナー

助産師職能委員長 向井 君子

平成18年度全国職能委員長会議に出席して

先日7月28日東京青山で第1回職能委員長会議が開かれ、出席いたしました。全体会では今年総会で決議された、看護師の基礎教育の見直しについて説明がありました。4年制大学の基礎教育を基本の柱とし、そこに保健師、助産師教育をどうしてゆくかが今後の検討課題になります。今、助産師の教育課程は半年以上ということですが、ほとんどが1年間の教育です。医療の進歩、技術の向上のためさらには、産婦人科閉鎖の現状から助産師の働き方が重要になってくることは間違いありません。さらに妊産婦、家族のニーズを考えると教育の充実が望まれ、助産師の教育課程は2年制の教育が必要ではないかと提案されています。秋にもまた地区別の職能委員長会議で意見交換をする予定です。また潜在および定年看護職員の就業に関する意向調査がおこなわれます。希望する就業条件や環境について調査し、看護職の人材確保に向けての政策や政策提言に活用したいと考えています。助産師も不足しています。ぜひ退職または休職されている看護職の方にお知り合いがいらっしゃれば、意向調査への登録をすすめていただき、たくさんのご意見をいただきたいと思っています。

看護師のコーナー

看護師職能委員長 北條 理恵

平成17年6月より看護師職能委員をさせていただいています。引き受ける際、職能委員はどのようなことをするのか、私で大丈夫なのかと大変不安でした。1年間は、何をすべきかと戸惑いながらも、職能委員の先輩方に引っ張ってもらい、会議や活動を通していろんな経験や学びになっています。ずっと同じ病院で働いているので、他の病院の方々と話したり、状況の意見交換が出来たりと緊張しながらも自分にプラスになることが多く、良い機会となっています。

活動内容の一部として、去年実施した「個人情報保護に関する調査」の結果をもとに、倫理綱領や個人情報保護の規定を、どうすれば多くの人に知ってもらえるか検討中です。また、看護協会員を増やしていくために、ホームページの活用をどうしていくかも考えています。この機会に、まだ会員でない方に声かけをお願いし、倫理綱領・個人情報保護の規定にもぜひ、目を通していただきたいと思っています。

今年は、介護老人福祉施設の看護師の動向調査を行う予定であり、どのような状況なのか把握し、今後にかかしていきたいと取り組んでいます。後、残りの期間を職能委員として役割を果たしていけるよう頑張りたいと思っています。

看護協会 委員会のコーナー

登録依頼が皆無についての一考

セカンドキャリア事業運営委員会 西本香代子

H17年1月に実施された「定年退職等看護職員セカンドキャリア開発支援研修会」において登録者は42名あり、この研修においては“セカンドキャリアモデル事業登録者名簿”になっている。最終の研修日にこの事業を継続していくか、どうか検討され継続志向が多数であったため、これを総会に提案し、承認を得て予算も計上される。今年の総会で事業活動内容を報告し、これをもとに、活動を進めるべきであるが、肝心の登録者が皆無ということである。私としては、先の登録者はそのまま継続されているものと認識していたが、改めての登録依頼であったようだ。

17年度1月の研修は定年退職者、予定者にとって非常に関心のあるテーマであった。

特に、年金生活のライフマネジメントは、現実にはわが身に差し迫ったことであるから知りたいところである。こうしたことが50名近い参加者、登録者になったとも思われる。

18年度の活動事業内容は、県の協会事業に協力することが主体のようにも受けとれる。そうすると必要なとき「借り出される」という印象が強くなる。このことに、抵抗感があり登録に躊躇しているかと推測する。

しかし、登録者間の交流、情報交換、更には充実した生活を求めての研修なども計画されているのだが、あいまいな位置づけとなっている印象は否めない。

再度、セカンドキャリア事業について、見直し、検討してみる必要があるかと考える。



My Hospital

医療法人恵友会



医療法人恵友会は、昭和61年5月に海南の国道42号線沿いに設立されました。病床数50床、回復室3床、人工透析室11床で、少しでも患者様の負担を軽減する為に予約制外来による待ち時間の短縮など、患者様に優しい病院創りを目指しています。

また、平成2年には下津町に、平成7年には恵友病院に隣接した老人保健施設を開設しました。当会は、この地域で生まれ急性期の医療を中心に地域のニーズにお応えすべく、医療機器やスタッフの充実に努力してまいりました。医療・介護・福祉を総合的に捉え、地域の方々に安心と信頼の場を提供することが恵友会全体の目標であります。看護部門の基本理念として、地域住民のニーズに即応できる質の高い看護を実践することであり、基本理念を支える最も重要な心の在り方として、

真心と優しさすなわち誠意をもって患者様やお年寄りに接することを、絶えず忘れないようにスタッフ一同心掛けていきたいと考えております。



リレーエッセイ 友達の輪 NO.18



海南市民病院

千畑 仁美

水泳監視当番

夏休み中に、1回は回ってくる水泳監視当番。今年も炎天下の下、プールサイドで気持ち良さそうに泳いでいる子供達を、監視しました。小学校2年の娘は、息つぎをしながら25mを泳げるようになったことを、うれしそうに見せてくれました。

監視当番が、わが子の成長した姿を見せてくれ、感謝しています。また1つ新たな感動を、娘が与えてくれました。

(次回は国立病院機構和歌山病院の山本なぎささんです。)

私の○○

私のストレス解消法



和歌山労災病院

山本 敦子

子供の頃から自然豊かな環境で育ったせいか、休日は屋外で過ごすことが多かった。

ストレスが溜った時は、家の中にいると余計に発散できないので、とくかく外へ出るようにしている。

小学校5年生・6年生の夏休みに、蟹で有名な日本海の間人(タイザ)の親戚に預けられて、青い海で思う存分泳いだことが根幹にあり、水泳は大好きである。

古座川・日置川・有田川・川湯など、50歳を過ぎた今でも小さな子供達と一緒に泳いだりもぐったりして楽しいひと時を過ごす。水着も6着持っていてその時の気分で着ている。更年期の“冷え”にも注意しながら近くのスポーツクラブにも行って、1~2キロをゆっくりと泳ぎストレスを解消している。

~~~~ 東洋羽毛のサービス ~~~~

リフォーム	古くなったお布団を、新品同様にリフレッシュします。羽毛は、きれいに洗浄して、新しい生地に詰め替えます。また、使わなくなったダブルを、シングル4枚などに、作り替える事も出来ます。
補修・お直し	穴が空いてしまったり、破れてしまった時は、補修します。
クリーニング	大きなお布団を、クリーニング店まで持って行く必要はありません。宅急便で、ご自宅まで取りに伺います。
特別注文	製造メーカーなので、ご希望のサイズの、お布団を作れます



※お布団の事なら、何でもご相談下さい。

社団法人 和歌山県看護協会 推薦

東洋羽毛工業(株)大阪営業所

和歌山店 〒6408329和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F
フリーダイヤル 0120-32-7766

※ 阪和営業所から和歌山店に変更になりました

大阪店 〒564-0062大阪府吹田市垂水町3-8-13
フリーダイヤル 0120-88-2104



ホームページアドレス
<http://www.toyoumo.co.jp>

和歌山県看護協会の動き

運営に関する会議

第4回理事会

開催日時 平成18年8月18日(金) 13:30～17:20

内容

1. 報告事項

1) 法人会員会報告

- ①平成18年度先駆的保健活動交流推進事業について
・「介護予防事業の研修プログラム開発事業」の研修
・生活習慣病予防対策のためのポピュレーションアプローチに関する普及・推進事業
- ②医療制度改革に伴う附帯事項について
・安全で質の高い医療の確保・充実に関する件
・がん対策基本法案に対する附帯決議
- ③看護職員確保が困難な地域・医療機関の看護職員確保モデル事業の実施
- ④産科診療所における助産師確保モデル事業の実施
- ⑤専門分野(がん・糖尿病)における質の高い看護師養成事業の実施について。
- ⑥CNR・ICN 学術集会の開催について
- ⑦身体拘束廃止推進事業に係る看護指導者養成研修について
- ⑧看護職員の資質の向上について関係法規の一部改正について
- ⑨新たな保健師・助産師教育制度について

2) 職能委員長会報告について

3) 地区別施設代表者会議の開催状況について

4) 和歌山県ナース章の推薦について常務理事会で推薦し報告した

2. 協議事項

1) 職能委員の変更について

助産師職能委員 大居英子→滝口ひとみ
看護師職能委員 上 靖子→東 和子
2名承認される。

2) 看護研修センター建設について

財源について
助成金制度なく自力で財源の確保をする。そのために会員の協力が必要。
方法について会員から借りる方式をとる。
土地購入・建物建設の目標額を決めて、借りる計画、返す計画を明らかにして会員に協力を求める。次回理事会に具体案を示し検討することになった。

3) 看護協会立の訪問看護ステーションの運営と今後のあり方について

- ①公益法人制度の変更が本年5月に施行されたことに伴い、社団法人和歌山県看護協会が認定を受けるために必要な対策として、収益事業部分の切り離しが必要となる。
- ②訪問看護ステーションの歳入歳出等の課題
事業をするにあたり、公益法人として借入金の承諾もなく、また孤立会計制度となっているため、一般会計からの借り入れも問題があり、経営上様々な制約が発生し社団法人としての看護協会が運営することに問題が多い。

以上の点から検討した結果、新たな事業展開をしないかぎり、看護協会の事業とする意味がない。時代の変化とともに存在意義、価値も変化しているため休止する方向で全員了解し承認された。休止の時期については、利用者・職員の状況で判断することで承認された。

会員の皆さまへのお知らせ

●平成18年度近畿看護研究学会参加者募集中

多くの会員の皆さまがご参加下さいますようお願いしています。

開催日時 平成18年12月14日(木)・15日(金)
開催場所 和歌山県民文化会館
メインテーマ 「改革の時、看護の力を発揮しよう」
特別講演 「医療制度改革によって看護現場はどう変わる－診療報酬改定その後－」
講師 京都大学医学部附属病院院長補佐兼看護部長
嶋森 好子 先生
事例発表 がん・嚥下障害・糖尿病等の看護に関する事例を取り上げています。

参加申込みの問い合わせ先

和歌山県看護協会学会担当
TEL 073-446-0605

●看護研修センターの建設について

看護研修センターの移転について平成18年度通常総会で承認をいただき、その後財源の確保の方法について検討を進めていきました。

土地の取得、建物の規模とそれに伴う費用と財源の確保等、全体構想から具体的な計画までを今年中に会員の皆さまに提案する計画で検討中です。

会員の皆さまのご協力を得ないと実現しませんので、検討内容を随時公開いたします。今後の提案に関心をもっていただくようお願いします。

計画が具体的になりましたら臨時総会を開催し、会員の皆さまに承認いただいた上で進めていく予定にしています。

●平成19年度次の理事・委員が改選の予定です。

1. 理事

- ・会長
- ・第一副会長(保健師職能)
- ・常任理事
- ・書記長
- ・職能理事2名
①助産師職能委員長
②看護師職能委員長
- ・地区理事
①和歌山地区
②海南・海草地区
③新宮・串本地区

2. 職能委員

- ・保健師職能委員 4名
- ・助産師職能委員 3名
- ・看護師職能委員 4名(1名は准看護師)

3. 推薦委員 3名

4. 日本看護協会総会代議員

平成20年度日本看護協会総会代議員の推薦については、各地区支部長にお願いします。

立候補・推薦についての問い合わせは、県看護協会事務局まで。